

自治体SDGsモデル事業

Move forward ! 「SDGsフードマッチングプロジェクト」



熊本県八代市

九州のほぼ中央に位置する田園工業都市

- 冬春トマト・イグサの生産量日本一
- 八代特産晩白柚、八代生姜の産地
- 製紙パルプ、機械、化学、食品等の工業などが集積
- 陸・海路の交通の要衝（八代港、九州新幹線、九州縦貫自動車道）

基本情報

総人口	123,067人 (2020年国勢調査)
世帯数	49,204世帯 (2020年国勢調査)
面積	約681km ²
産業分類別就業者合計	58,404人 (2015年)



●地域産業の担い手不足解消

若年労働者が不足（特に農業）

●地域における雇用創出

稼げる農林水産業の実現など、
地域産業を支える地域産業の発展

●若者等の定着・移住の促進

進学・就職のために学生の多くが
市外に転出

●関係人口の創出

観光入込客数等の減少、多様な
地域資源を活かした取組の検討

●子育て環境の充実

核家族化の進展、子どもの貧困対策

●過疎化で生じる問題への対応

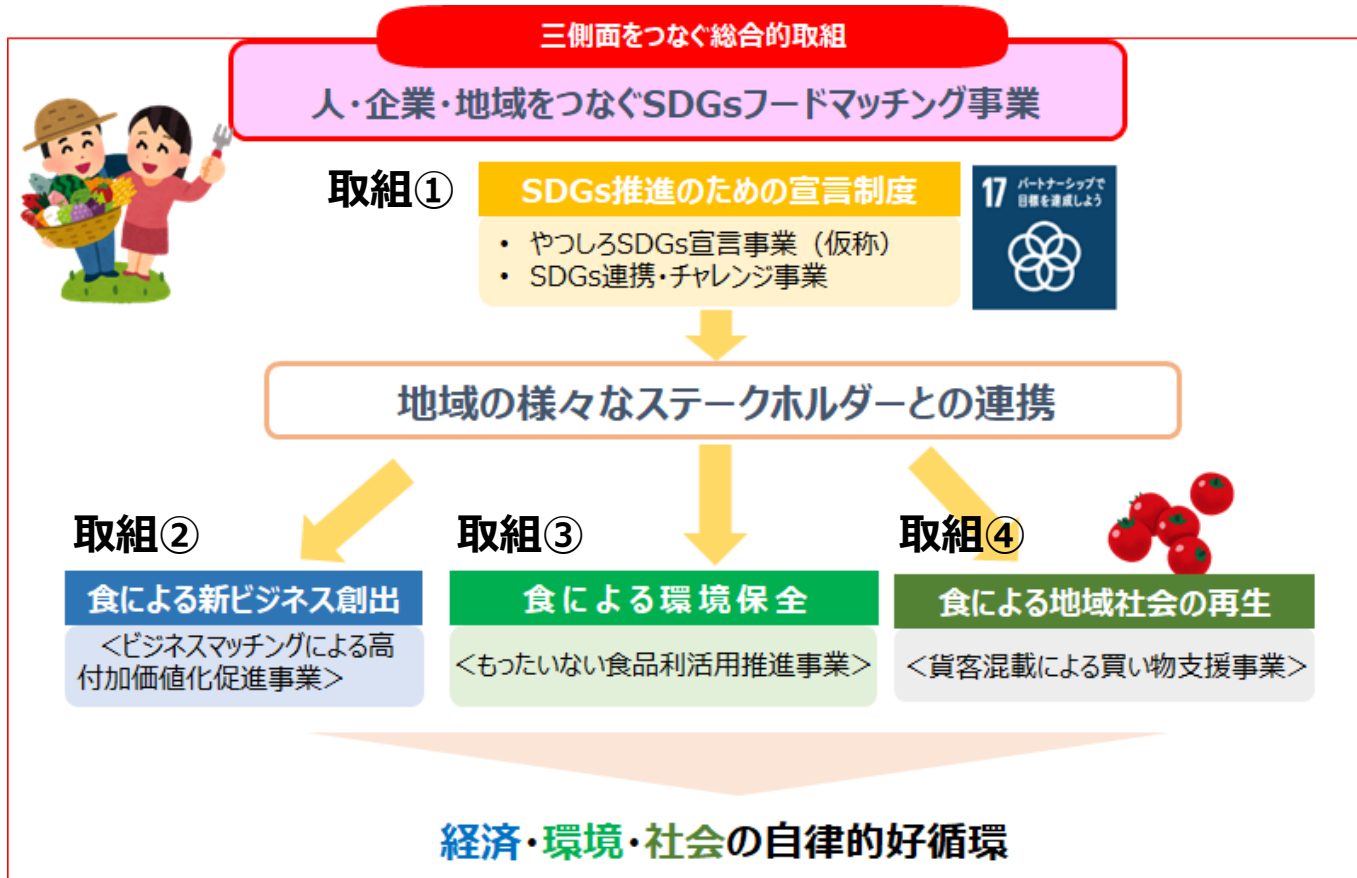
地域全体の高齢化、高齢者の安否確認、
買い物支援等

●ゼロカーボンシティの実現

市民・事業者・行政が一丸となった地球
温暖化対策への取組み



- 地域課題の解決に向け、デジタル技術も活用しながら市内外の人・企業・団体・地域が、“八代の豊富な農林水産物”等を活用した「食でつながる」機会を創出
- 八代市の経済・社会・環境が持続的に発展する仕組（体制）を構築



【2030年のあるべき姿】

新たなつながりの創出で、「持続可能な人と企業に選ばれるまち」へ

- SDGsに積極的に取り組む事業者等に見える化し、市内全域へのSDGsの普及啓発を図る。
- 本市の広報活動による宣言事業者等のモチベーション向上や、対外的な認知度向上につなげ、宣言事業者等同士や多様なステークホルダーとの連携によるSDGsの取組を促進。
- 取組事業者等のSDGs連携の加速化及び資金的支援として「SDGs連携・チャレンジ事業」を実施。

やつしろSDGs宣言事業 (仮称)

- 宣言事業者の登録
- 八代市HP等での広報
- 宣言事業者やステークホルダーとの連携機会の創出

➢ SDGs連携 企業マッチングツアー

域外企業と本市取組事業者等との情報交換

➢ SDGsクラウドファンディング支援

取組事業者等のCFエントリー支援・サポートミーティング、セミナー開催

**SDGs連携・
チャレンジ事業**



•連携の加速化
•資金的支援



市内全域へのSDGsの取組みの拡大とともに、本市の農林水産物等と様々なステークホルダーとをつなげ、新たな価値を創造

ビジネスマッチングによる高付加価値化促進事業

～八代地域の特産品生産者と地域企業の相互の強みを活かした、特産品の高付加価値化を支援～



くまもと塩トマト



糖度は、一般の大玉トマトの1.5～2倍

八代特産晩白柚



ギネス記録認定・世界最大の柑橘類

八代生姜



品質の良さと周年出荷出来ることが市場で高く評価され、一般的な生姜に比べて3割以上の高値で取引

くまもと県産い草



い草の栽培面積・畳表の生産量、共に日本一の熊本県

地理的表示（GI）登録されている八代市の特産品

【八代産農産物を活用した近年の取組事例】



よっ！日本ー！
（八代産トマトの高級食パン）



YACCHIROMAN
（晩白柚クラフトビール）



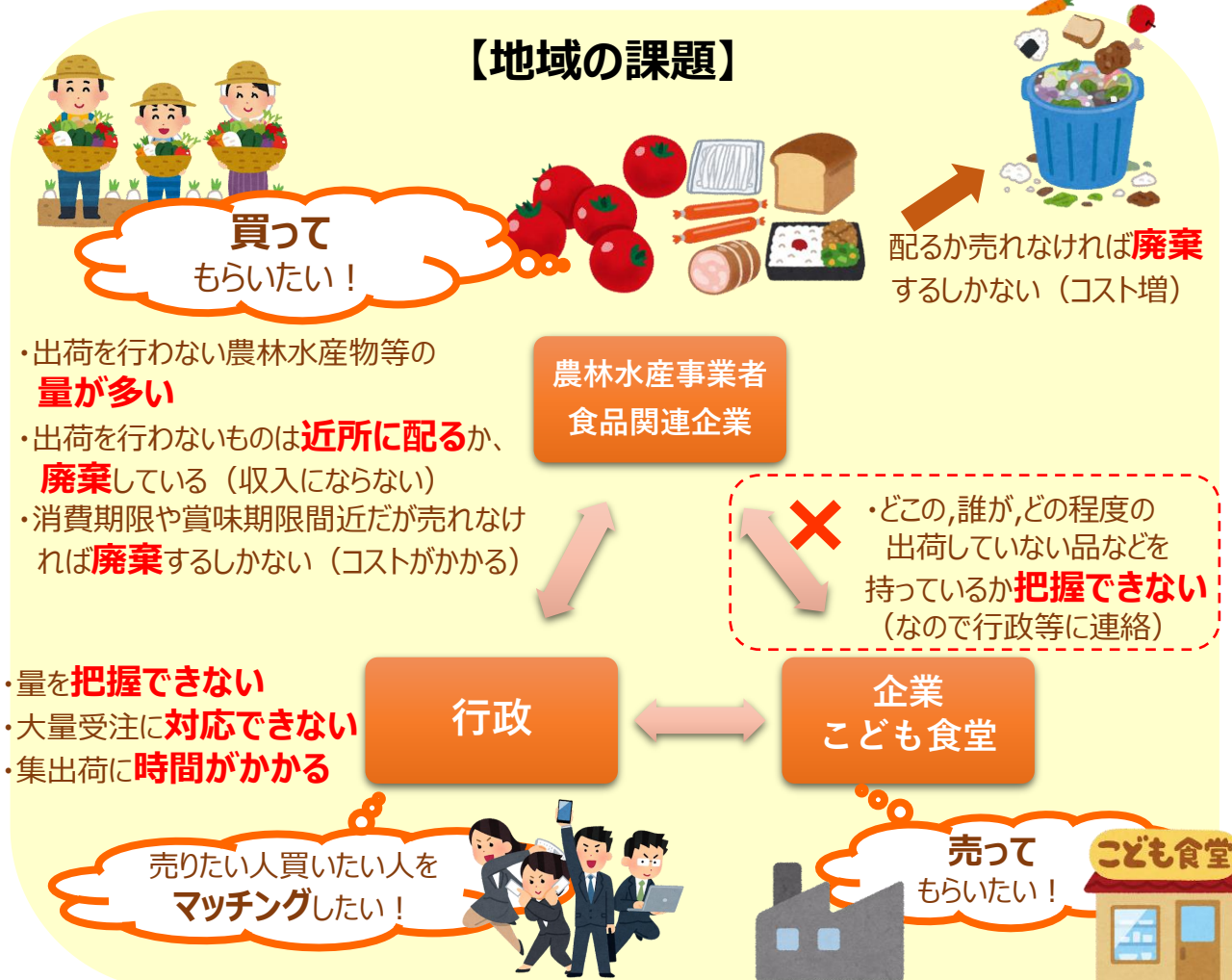
DAYSソイプロテイン
（いざパウダー配合ソイプロテイン）



ジンジャーアイス
（八代アイスクリームシリーズ）

もったいない食品利活用推進事業

～消費期限や賞味期限間近な食品や区域内的の農林水産物の中で通常出荷をされていないものを、有効活用したデジタルマッチングによる食の好循環を創出し、環境負荷を低減～



取り組み計画 ※イメージ

2. 農林水産事業者等が情報発信する仕組み



- 売りたい人と買いたい人、譲りたい人と譲ってほしい人がダイレクトにつながる仕組みをデジタル技術を活用して構築
- 未出荷や売れ残りなど、廃棄に回される食品の好循環を形成
- 廃棄量を減らすことで環境負荷を低減していく

貨客混載による買い物支援事業

～人とモノを同時に運んだり、デジタル技術の活用による過疎地域などの買い物弱者を支援～

過疎地域 (交通空白地域)



【地域課題】

- スーパーマーケットまで遠い
- 公共交通機関がない

自分の都合に合わせて

- 病院に行けない
- 買い物に行けない



住民ニーズと地域シーズをアプリを活用してマッチング



交通事業者等による事業運営



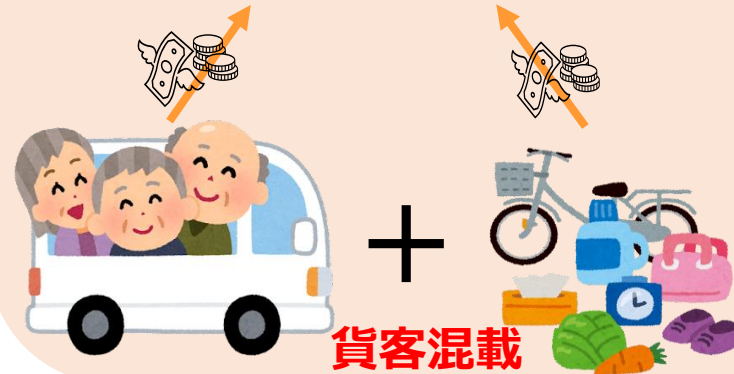
買い物支援

病院等への送迎 (待ち時間がある)
人とモノを同時に輸送



待ち時間を活用して住民の買い物を代行

依頼を受けた貨物を運送



貨客混載



- 地域における収益の確保
- 過疎地域住民の利便性向上
- 貨客混載の効率的車両運行によるCO2排出量の抑制

住民ニーズと地域シーズをアプリを活用してマッチングし、地域で運営する運行車両の効率的な運用を図るとともに、乗客が移動先で用事を済ませている時間にアプリで依頼のあった買い物等を行い、帰りに乗客と一緒に買い物した貨物を運ぶ「運送マッチングサービス」を実現させる。

経済、社会、環境の各側面の相乗効果

環境→経済

「もったいない食品利活用推進事業」により、地産地消が促進され、本市農林水産物等の活用が促進

経済→環境

「もったいない食品利活用推進事業」により、廃棄されていた食品等の減少が期待され、八代市の燃えるごみが減少

環境

- ・環境保全
- ・環境負荷低減

経済

- ・地域産業の魅力向上
- ・持続可能な経営
- ・農産物等の付加価値向上、流通促進

経済→社会

「ビジネスマッチングによる高付加価値促進事業」により、商品の増産、開発に伴う新たな雇用が創出

社会→経済

「貨客混載による買い物支援事業」による、交通空白地帯の過疎地域における公共交通機関の収入が増加、地域公共交通の持続的経営

社会

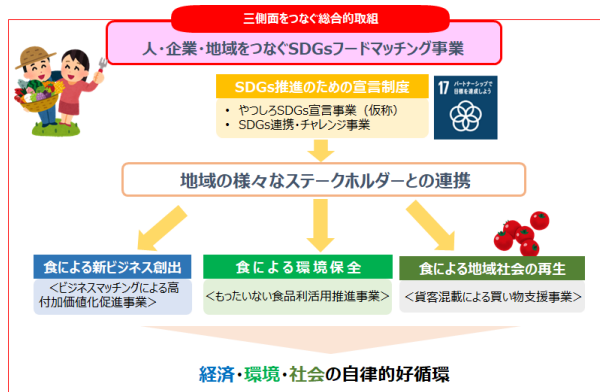
- ・買い物弱者・過疎対策
- ・子育て環境の充実

環境→社会

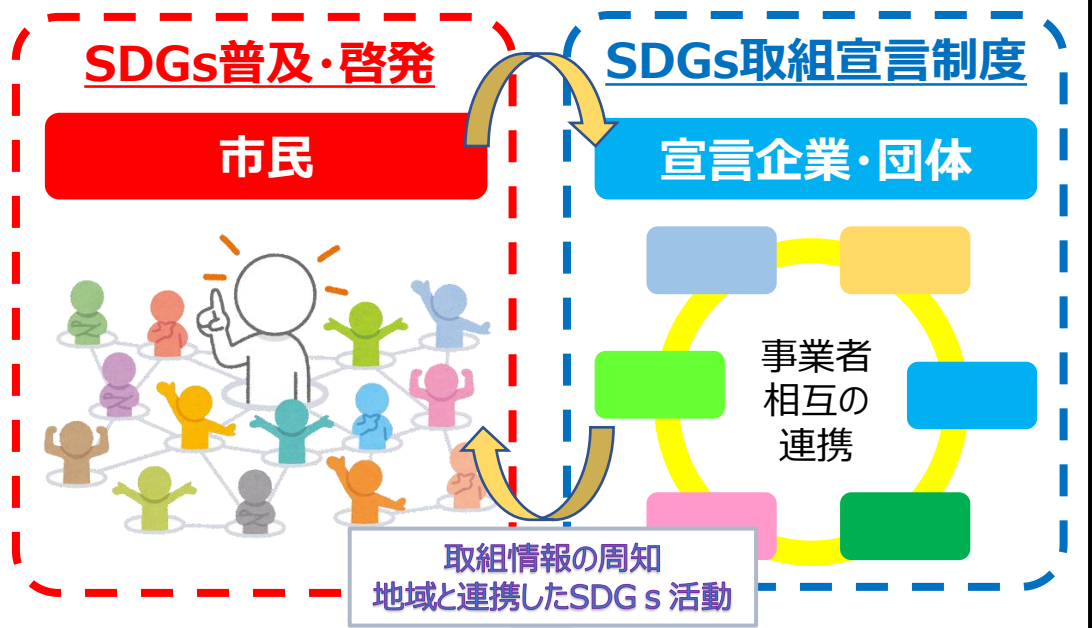
「SDG s 推進のための宣言制度」をきっかけに、フードドライブなどの支援が拡大することにより、子どもの貧困が解消

社会→環境

「SDG s 推進のための宣言制度」による普及啓発をきっかけに、市民個人の意識が高まり、公共交通利用が促進され、CO2排出量が減少



推進体制



市民・企業・団体等の取組を下支え

様々なステークホルダー



- 地域の所得向上
- 環境負荷抑制
- 貧困問題の開放



- アプリの開発
- 人的支援
- 企業版ふるさと納税等の活用
- 普及・啓発

モデル事業 人・企業・地域をつなぐ SDGsフードマッチング事業

ビジネスマッチングによる高付加価値化促進事業

- 県内企業等と連携した今後の市場を見据えた特産品の高付加価値化

もったいない食品利活用推進事業

- 未出荷や売れ残りなどを有効利用
- 食品廃棄物の減少

貨客混載による買い物支援事業

- 過疎地域（交通空白地帯）における貨客混載による新たな交通＋買い物支援サービスの展開